保証とアフターサービス　必ずお読みください

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

東芝生活家電ご相談センター

フリーダイヤル 0120-1048-76

受付時間：365日 9:00～20:00

携帯電話･PHSなど 022-774-5402（通話料：有料）

FAX 022-224-6801（通信料：有料）

- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証書（別添）

- この東芝クリーナーには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- **保証期間はお買い上げの日から1年間です。** 詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- クリーナーの補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後６年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は当社で引き取らせていただきます。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 部品共用化のため、一部予告なしに仕様や外観色を変更することがあります。

修理を依頼されるときは　持込修理

15ページに従って調べていただき、なお異常があるときは、電源を切り使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は

保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。
なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

■保証期間が過ぎているときは

保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。修理すれば使用できる場合は、ご希望によって有料で修理させていただきます。

■修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代などで構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。

便利メモ	お買い上げ日	年　月　日
	お買い上げ店名	電話（　　）　－

愛情点検　長年ご使用のクリーナーの点検をぜひ！

このような症状はありませんか。

- スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。
- 電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
- 運転中に異常な音がする。
- 運転中ときどき止まる。
- 本体が変形したり異常に熱い。
- ホースが破れている。
- こげくさい"におい"がする。
- その他の異常・故障がある。

ご使用中止 → 故障や事故防止のため、使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

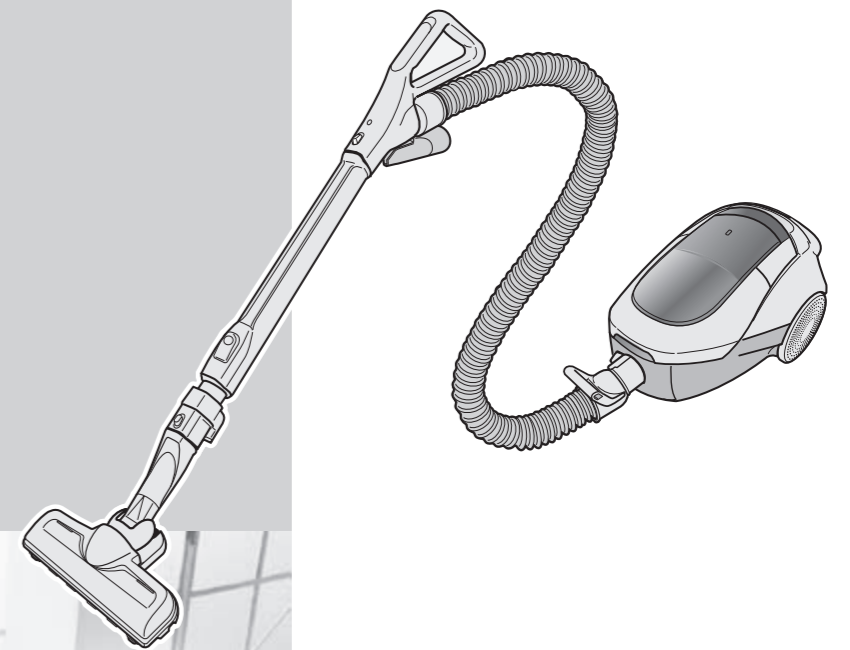
東芝ホームアプライアンス株式会社

リビング機器事業部

〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝クリーナー（家庭用）
取扱説明書

形名 **VC-CA8E**

- このたびは東芝クリーナーをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書を必ずお受け取りください。
- 包装に使用しているダンボールは、分別の上、リサイクルにご協力をお願いします。

もくじ

日本国内専用
Use only in Japan

安全上のご注意

必ずお守りください

●商品および取扱説明書にはお使いになるかたや他の人への危害と財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

⚠警告　「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷＊1 を負うことが想定されること」を示します。

「取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷＊2 を負うことが想定されるか、または物的損害＊3 の発生が想定されること」を示します。

＊１：重傷とは、失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊２：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊３：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

⚠警告

火災・感電を防ぐために

指 示

異常・故障時にはすぐに使用を中止する
発煙・発火・感電の原因。
すぐに「切」スイッチを押し、電源プラグを抜いて、販売店へ点検・修理を依頼してください。
●スイッチを入れても、ときどき運転しないときがある。
●電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。
●運転中ときどき止まる。
●運転中に異常な音がする。
●本体が変形したり異常に熱い。
●ホースが破れている。
●こげくさい“におい”がする。

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う

指 示

●電源は交流100V 定格15A 以上のコンセントを単独で使う
・火災・感電の原因。
・**延長コードは使わないでください。**

●電源プラグとコンセントのホコリなどはプラグを抜き、定期的に乾いた布でふき取る

●電源プラグは根元まで確実に差し込む
・感電・発熱による火災の原因。

●ゴミ捨て時やお手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
・感電・けがの原因。

禁 止

●電源コード・電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
・感電・ショート・発火の原因。

●電源コードは黄マーク以上引き出さない

●電源コードを傷付けない、無理に曲げない、引っ張らない、ねじらない、束ねない、加工しない、重いものを載せない、はさみ込まない

●電源コードを床ブラシの回転部に巻き込まない
・電源コードの損傷による火災・感電の原因。

●電源プラグはぬれた手で抜き差ししない
・感電・けがの原因。

水ぬれ禁止

水まわりや風呂場では絶対に使わない
・感電の原因。

本体・ホース・伸縮延長管は絶対に水洗いしない
・感電・故障の原因。

禁 止

灯油、ガソリン、シンナー、可燃性ガス（スプレー）などの引火性のあるもの、タバコの吸い殻などの火の気のあるもの、トナーなどの可燃物、じゅうたん洗浄剤などの泡状のものは吸わせない
・爆発・火災・感電・けがの原因。

分解禁止

絶対に改造はしない
また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
・火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店、または東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

図記号の説明

禁 止

⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

●
指 示

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

注 意

△は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

⚠警告

けが・やけどを防ぐために

禁 止

ふたが開いているときは、ふたを持って本体を持ち上げない
・本体の変形・けがの原因。

接触禁止

床ブラシの回転部など裏面や、本体の排気口付近には触れない
・手など、けが・やけどの原因。
・**特に小さなお子さまにご注意ください。**

⚠注意

火災・感電・ショートを防ぐために

電源・電源プラグ・電源コードは正しく使う

指 示

●電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って抜く
・プラグの刃の変形、電源コードの断線による感電・ショート・過熱による発火の原因。

●電源コードは、まっすぐ引き出す
・電源コードを上に引っ張りながら引き出すと本体の引き出し部とのこすれによって、電源コードが破損します。
・感電・発火の原因。

●クリーナーを使わないときは、電源プラグをコンセントから抜く
・けが・やけど・絶縁劣化による感電・漏電火災の原因。

禁 止

吸込口をふさいで長時間運転しない
・過熱による本体の変形・発火の原因。

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使わない
・爆発・火災の原因。

排気口をふさがない
・火災の原因。

本体にあるホース差込口の接点にピンや金属類などを入れない
・感電・破壊の原因。

破れや傷のあるホースは使わない
・感電の原因。

火気に近づけない
・本体や電源コードなどの変形によるショート・発火の原因。

指 示

ダストカップ・プリーツフィルターは正しく取り付ける
ダストカップのネットやプリーツフィルターが破れたり、古くなったときは交換する
・モーターの発煙・発火・故障の原因。

けが・破損を防ぐために

指 示

電源コードを巻き取るときは、電源プラグを持って行う
・電源プラグがあたりけがの原因。

禁 止

ホースを持って本体を持ち上げない
・本体・ホースの破損、本体落下による床の傷付きの原因。

本体に乗らない
・本体・ホースの破損、けがの原因。
・**特に小さなお子さまにご注意ください。**

お願い

業務用に使わない、掃除以外に使わない

- このクリーナーは家庭用です。

次のものは吸わせない

- **異臭の発生・本体故障・ダストカップの傷付きの原因になります。**
  - ・水などの液体、吸湿剤（湿気取り）など、水分を含んだゴミ。
  - ・ペットなどの排泄物が付着したもの。
  - ・ガラス、針、ピン、刃物など鋭利なもの。
  - ・多量の砂（ペット用砂、パウダー状の粉末など）、小石など目詰まりするもの。
  - ・食品用ラップや包装用フィルムなどの通気性の悪いもの。

ホース・伸縮延長管の先端でお掃除しない

- 床の傷付き・故障の原因になります。

掃除の際は電源コードを十分に引き出す

- 電源コードを黄マーク以上無理に引っ張ると、断線の原因になります。

本体を急激に引っ張らない

- 床・たたみ、壁・家具などへの傷付き防止のため、本体を軽く引っ張ってください。
- 杉・ひのきなどやわらかく傷付きやすい木床では、本体ハンドルを持ってお掃除することをおすすめします。

床ブラシについて

- **力を入れずに片手で軽く滑らせる**
  床・たたみに押し付けると傷付き、壁・家具などに強く当てると色が付きます。
  杉・ひのきなどやわらかく傷付きやすい木床や、床用ワックス・つや出し床用洗剤をお使いのときは、床にこすり傷が付くことがあります。
- **伸縮延長管には手を添えない**
  伸縮延長管・床ブラシに無理な力が加わります。
- **床ブラシ裏面の車輪が摩耗しているときは使わない**
  床・たたみ・じゅうたんを傷付けることがあります。お掃除の前に点検してください。
- **砂ゴミ上で使った後は、裏面の車輪に付いた砂ゴミを取り除く**
  床を傷付けることがあります。
- **表面がかたく、凸凹したコンクリート床などで使わない**
  床ブラシの車輪が摩耗して、床・たたみ・じゅうたんを傷付けることがあります。

各部のなまえ

はずすときはボタンを押しながら

手元スイッチ（→6ページ）

すき間ノズル（→8ページ）

カチッ

伸縮延長管

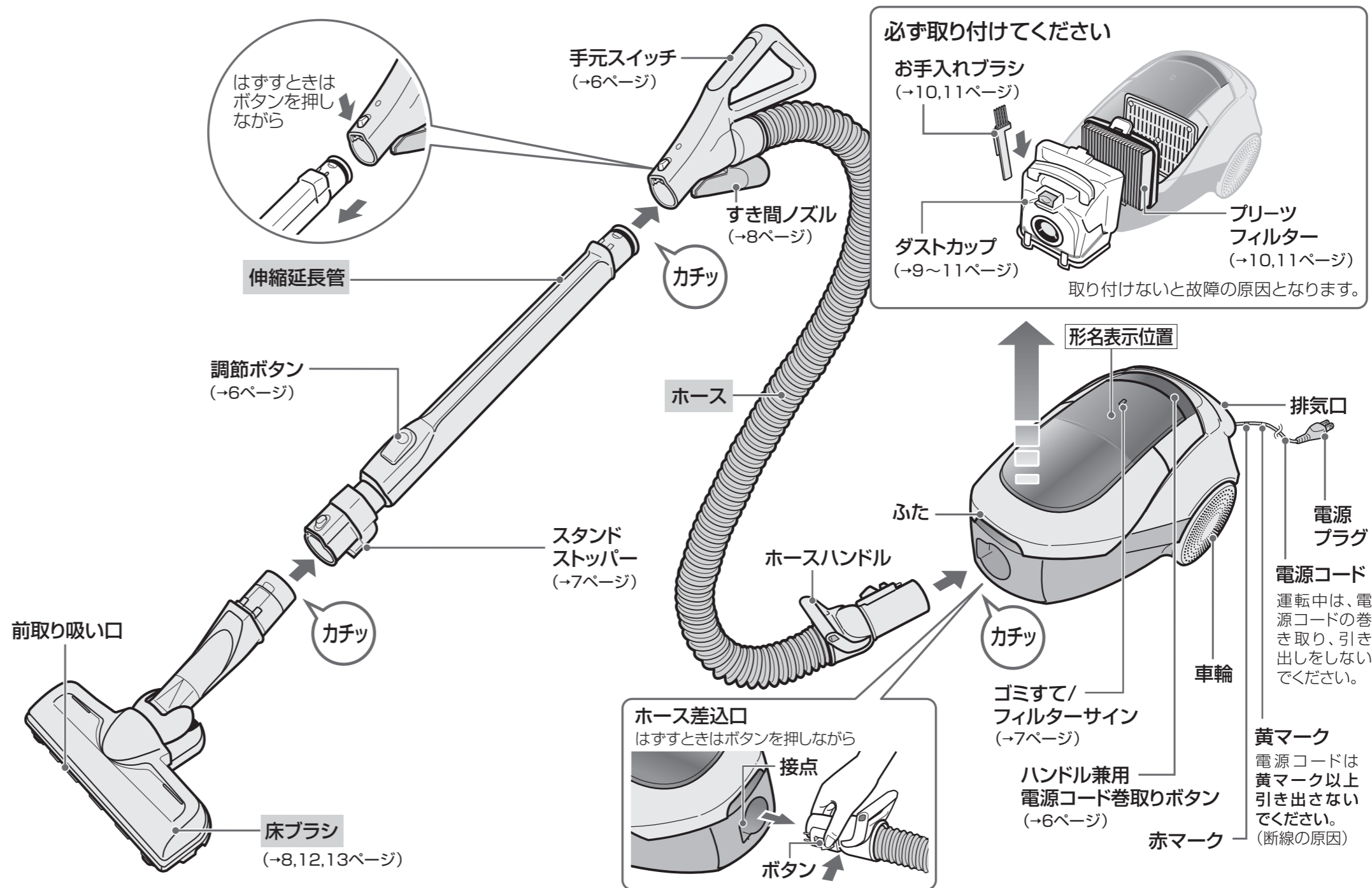
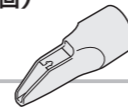
調節ボタン（→6ページ）

スタンドストッパー（→7ページ）

前取り吸い口

床ブラシ（→8,12,13ページ）

ホース

ホースハンドル

必ず取り付けてください

お手入れブラシ（→10,11ページ）

ダストカップ（→9～11ページ）

プリーツフィルター（→10,11ページ）

取り付けないと故障の原因となります。

形名表示位置

排気口

ふた

電源プラグ

電源コード
運転中は、電源コードの巻き取り、引き出しをしないでください。

車輪

ゴミすて/フィルターサイン（→7ページ）

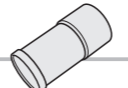
ハンドル兼用電源コード巻取りボタン（→6ページ）

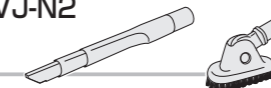
黄マーク
電源コードは**黄マーク以上引き出さないでください。**（断線の原因）

赤マーク

ホース差込口
はずすときはボタンを押しながら

接点

ボタン

標準付属品

- 上図で、[網掛け] の中になまえが書かれているものが標準付属品です。ご確認ください。

応用　付属品

すき間ノズル（1 個）

お手入れブラシ

- 8 ページを参照して取り付けてください。

別売品用アタッチメント（1 個）

- 別売品をお使いの際に伸縮延長管またはホースに差し込んでお使いください。

別売品

フリーアングルブラシ付 3 段伸縮すき間ノズル VJ-N2

丸ブラシ（馬毛製） VJ-M2U

ふとん用ブラシ VJ-B4

- 別売品はお近くの東芝商品販売店でお買い求めください。

お掃除のしかた

1 電源コードをまっすぐ引き出し
電源プラグをコンセントに差し込む

2 強 または 弱/中 を押す（お掃除開始）

「強」でお掃除するとき
●じゅうたんなど強い吸込力が必要なとき

押すごとに「弱←→中」が切り替わる
「弱」●静かにお掃除したいとき
●カーテンなどが吸い付いて操作がしにくいとき
●すき間ノズルを使うとき
「中」●床、たたみ、吸い付きやすいホットカーペットやじゅうたんなどのお掃除のとき

手元スイッチ

お知らせ
●お掃除中に大きなゴミなどが急激に吸い付くと、ゴミすて／フィルターサインが点滅し、吸込力を弱めます。
また、ゴミなどが吸い付いたまま使い続けるとモーター保護のために運転が止まりますが、ゴミを取り除くと再びお使いになれます。
●一度に多くの家電製品をお使いになるなどして電源電圧が低いときは、吸込力が弱くなることがありますが故障ではありません。

3 切 を押す

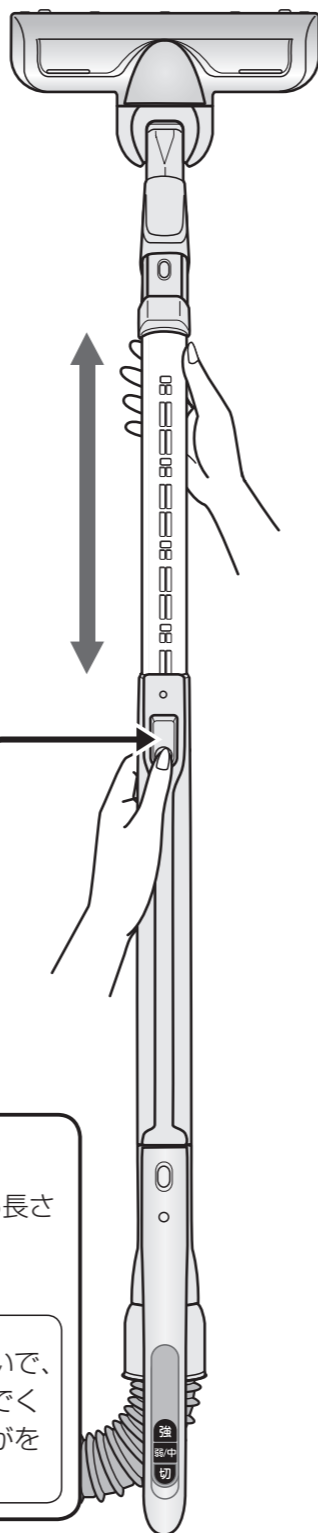
運転を止めるとき

※電源プラグがコンセントに差し込まれていると「切」のときでも約２Ｗの電力を消費します。

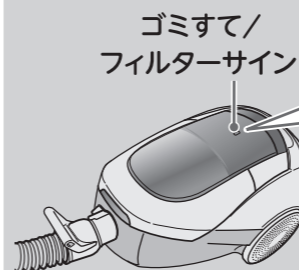
4 お掃除が終わったら
電源プラグをコンセントから抜く

●電源プラグを持ちながら、ハンドル兼用電源コード巻取りボタンを押し電源コードを巻き取る。巻き取れないときは、1～2m 引き出して、再度巻き取る。
●運転停止直後は電源プラグが熱くなっていることがありますのでご注意ください。

調節ボタン
調節ボタンを押しながら長さを調節してください。

お願い
運転中に吸込口をふさいで、調節ボタンを押さないでください。急に縮み、けがをすることがあります。

ゴミすて／フィルターサイン

ゴミ捨てやフィルターのお手入れが必要な時期（目安）をゴミすて／フィルターサインが点滅してお知らせします。

ゴミすて／フィルターサイン

消灯
あまりゴミがたまっていません。

赤点滅
ゴミがいっぱいか、ダストカップのネットやプリーツフィルターが目詰まりしています。
（吸引力が弱くなります）
ゴミを捨てる、またはお手入れをしてください。

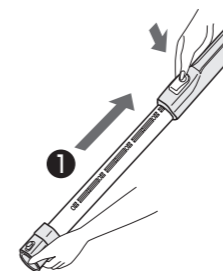
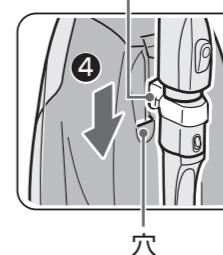
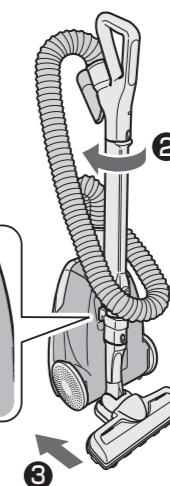
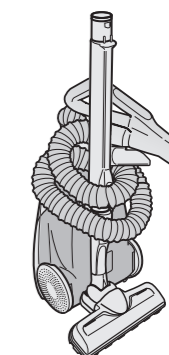
※運転停止後も点滅でお知らせします。

お願い
●吸込力を持続させるために、こまめにゴミを捨て、定期的にダストカップのネットやプリーツフィルターを点検してください。
●**定格 15A 以上のコンセントを単独でお使いください。延長コードを使ったり、他の家電製品と同じコンセントでお使いになると電源電圧が下がり、ゴミすて／フィルターサインが早く点滅することがあります。**

ゴミすて／フィルターサインの点滅について

●点滅したまま使うと、モーターの保護のため自動的に吸込力が弱くなります。
●綿ゴミなど風を通しやすいゴミは、ダストカップにいっぱいになっても点滅しないことがあります。
●ダストカップのネットやプリーツフィルターに目詰まりしやすい砂ゴミ、土ぼこりなどの粉ゴミや誤って吸い込んだ湿ったゴミは、ダストカップにいっぱいにならないうちに目詰まりし点滅することがあります。
●ゴミを捨てても点滅したままの場合は、風路内、ダストカップのネット、プリーツフィルター等をお手入れしてください。お手入れの頻度はゴミの種類や使う頻度により異なります。（→10～13 ページ）

本体の収納のしかた（スタンド収納）

❶調節ボタンを押しながら、伸縮延長管を縮める
❷伸縮延長管を 1 回転させ、ホースを巻き付ける
❸床ブラシを滑らせながら本体側に引く
❹スタンドストッパーを本体の穴に差し込む

ホースの握り部をはずすとより低くなります。

お願い
●収納状態で持ち運ばないでください。スタンドストッパーがはずれることがあります。
●標準付属品の床ブラシを取り付けて、収納してください。それ以外（別売品など）で収納状態にすると、スタンドストッパーがはずれることがあります。

付属品の使いかた

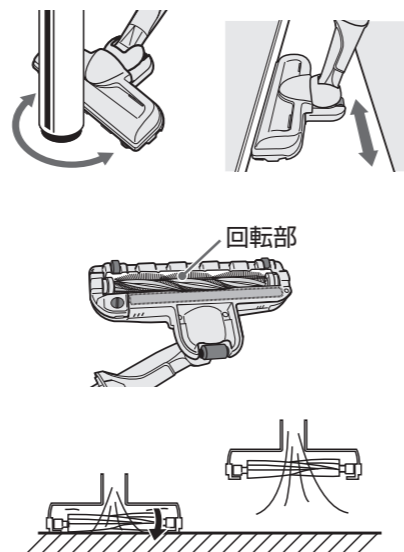
⚠警告	床ブラシの回転部など裏面や、本体の排気口付近には触れない ・手など、けが・やけどの原因。 接触禁止 ・特に小さなお子さまにご注意ください。

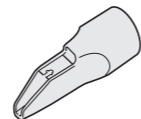
床ブラシ

前取り吸い口について

●前取り吸い口でテーブルの脚にたまったホコリや狭いすき間のゴミをとります。

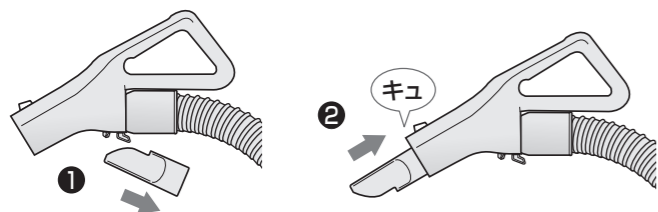
回転部について

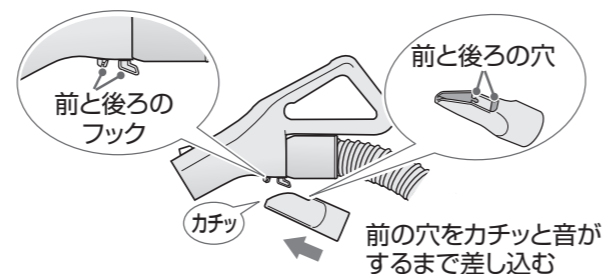
●床ブラシは、床面につけると回転部の回転がはやくなり、ゴミをかき込んで吸い込みます。
●ダストカップがゴミでいっぱいになっていなくても、ゴミの種類によっては、ダストカップのネットやプリーツフィルターが目詰まりして、回転部が回らないことがあります。このようなときは、ダストカップやプリーツフィルターをお手入れしてください。
●床ブラシを持ち上げたときは、安全のため回転部は止まります。（ゆっくり回る場合もあります）
●床面の種類によっては、回転部の回転が止まることがあります。

すき間ノズル

通常は、弱/中を 1 回押し、「弱」で使う
※強い吸込力でお掃除するときは、弱/中を 2 回押し、「中」でお使いください。

セットするときは

❶すき間ノズルを矢印の方向へスライドさせてはずす
❷ホース、または伸縮延長管の先端にしっかりねじ込む

収納するときは

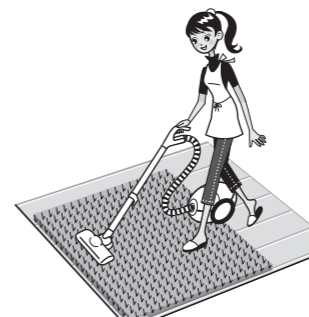
すき間ノズルを矢印の方向へスライドさせ、前と後ろの穴を手元スイッチの裏側のフックに差し込む

お知らせ
●収納状態でもすき間ノズルは衝撃によりはずれることがあります。
●「強」で使うと、保護装置が働くことがあります。また、急激にホースが縮むことがあります。

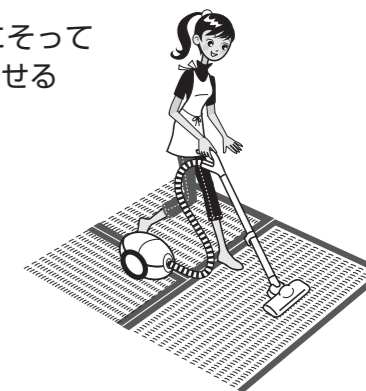
お願い
●**床などに使わないでください。傷を付けることがあります。**
●20 分以上続けて使わないでください。モーターに負担がかかります。
●**すき間ノズルをフックから無理にはずさないでください。フックが変形して収納できなくなります。**

お掃除のコツ

大きめの紙片や包装用フィルムなどは、お掃除の前にあらかじめ拾っておきましょう。
ホース・伸縮延長管・床ブラシの風路に詰まる場合があります。

じゅうたんのお掃除

毛足の長いじゅうたんは「強」で、吸込力が強く操作が重いときは「中」で使う

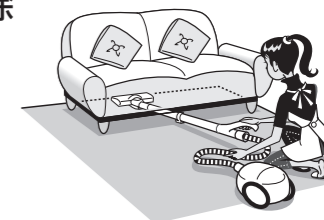
新しいじゅうたんは、ダストカップが遊び毛でいっぱいになりますが、使っている内に遊び毛は徐々に少なくなります。

たたみ、床のお掃除

たたみ目、板目にそって片手で軽くすべらせる（傷付き防止）

壁際や狭いところのお掃除

手元をひねり床ブラシの向きを変える

低いところのお掃除

手元を下げる

より奥までお掃除するときは手元をひねる

お願い
●狭いところや低いところのお掃除をするときは、スタンドストッパーが床面、家具などにあたらないように注意してください。

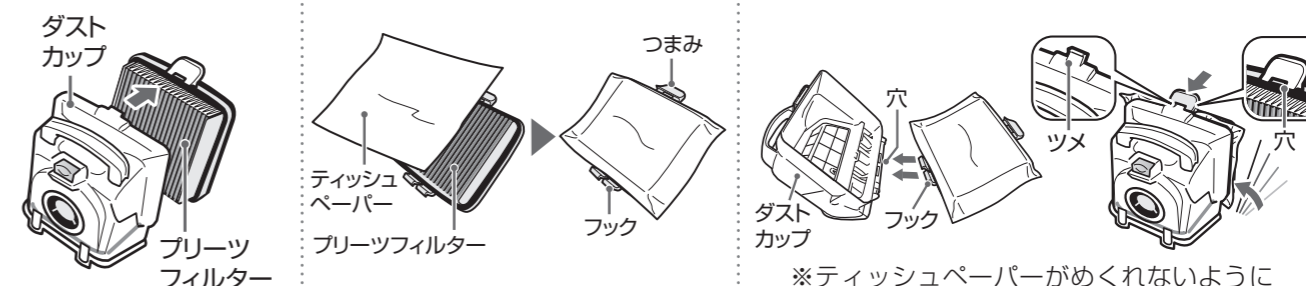
プリーツフィルターにティッシュペーパーを取り付けると、プリーツフィルターへの繊維ゴミやちりの付着が減り、お手入れを軽減できます。

ティッシュペーパーの取り付けかた

❶ダストカップからプリーツフィルターを取りはずす

❷プリーツフィルターのフックとつまみが見えるようにティッシュペーパーをのせる

❸プリーツフィルターのフックをダストカップの穴に引っかけてから、ダストカップのツメをプリーツフィルターのつまみの穴にはめ込む

※ティッシュペーパーがめくれないように取り付けてください。

お知らせ
●ティッシュペーパーを取り付けると通常より早くゴミすて / フィルターサインが点滅します。点滅したらダストカップの中のゴミを捨て、ティッシュペーパーを新しいものに交換してください。（→7,10 ページ）
それでも点滅したままの場合は、プリーツフィルターのお手入れをしてください。（→11 ページ）

お願い
●ぬれたティッシュペーパー・使用済みのティッシュペーパーは使わないでください。（故障の原因）

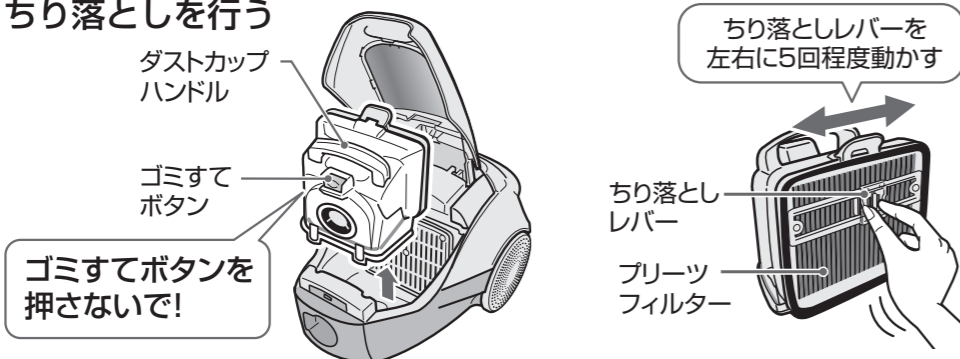
ゴミの捨てかた

お掃除が終わったらこまめにゴミを捨てましょう
ゴミがたまってくると吸込力が低下します。

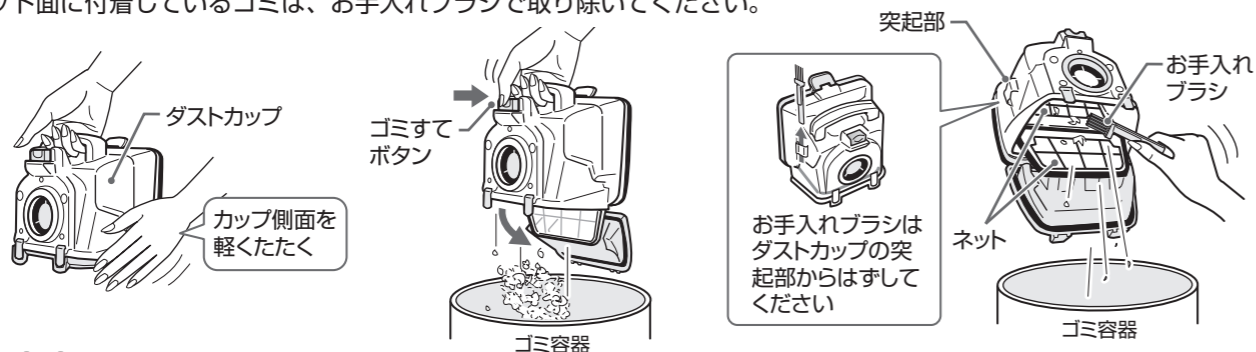
ダストカップ
お手入れブラシ
突起部
ダストカップハンドル
ゴミすてボタン
吸込口

お願い
- ゴミの種類により少量のゴミでも吸込力が弱くなる場合があります。このようなときは、ダストカップのゴミを捨て、ネットのゴミを取り除き、プリーツフィルターのお手入れをしてください。

ゴミを捨てる前には 切 を押し、電源プラグをコンセントから抜き、ホースをはずしてください。

1 ふたを開け、ダストカップを取り出し、プリーツフィルターのちり落としを行う

お願い
- 本体からダストカップを取り出すとき、ゴミすてボタンを押さないでください。ゴミがこぼれます。

2 ダストカップを大きめの紙袋（ポリ袋）や、ゴミ容器の中に入れ、ゴミすてボタンを押す

- ダストカップの底面が開き、中のゴミが捨てられます。
- ゴミを捨てる前にダストカップ側面を軽くたたくと、ゴミが落ちやすくなります。
- ネット面に付着しているゴミは、お手入れブラシで取り除いてください。

お願い
- ダストカップの底面は直接手で開けられません。ゴミを捨てるときは必ずゴミすてボタンを押してください。
- ダストカップの底面には無理な力を加えないでください。はずれることがあります。
- お手入れブラシを使ってダストカップ内をお手入れするときは、十分注意して下さい。（ガラスなど鋭利なゴミが入っていると、けがの原因）

3 ダストカップの底面を手で戻しカチッと音がするまではめ込み、本体にダストカップを取り付ける

お願い
- ふたで指をはさまないよう注意してください。

お手入れする

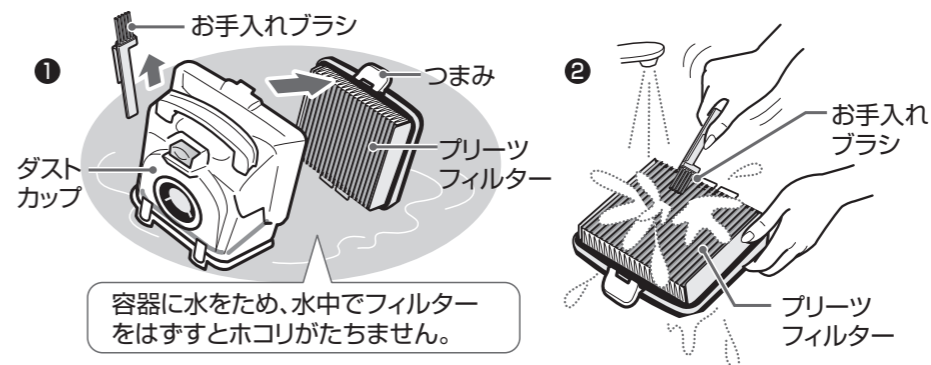
お手入れの際には 切 を押して運転を止め電源プラグを抜いてください。

- 本体からダストカップを取り出し、ゴミを捨ててください。

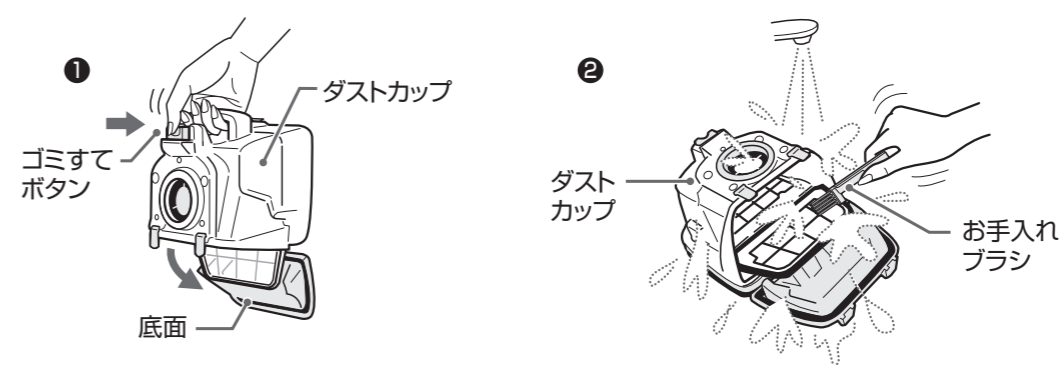
プリーツフィルター・ダストカップ …ゴミを捨てても吸い込みが弱いとき

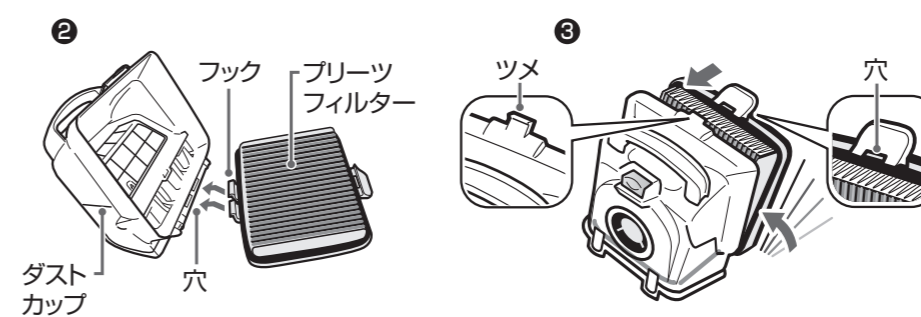
1 プリーツフィルターをはずし、水洗いする

❶つまみをもち、プリーツフィルターをはずす
❷水洗いをする

- プリーツフィルターを広げながらお手入れブラシで洗ったり、容器に水をため、つけ置き洗いをするとゴミが落ちやすくなります。

お願い
- プリーツフィルターのお手入れには付属のお手入れブラシ以外のものを使わないでください。（破損の原因）
- プリーツフィルターのお手入れが不十分なまま使い続けないでください。（モーターの発煙・発火・故障の原因）

2 ダストカップ内を水洗いする

❶ゴミすてボタンを押し、底面を開く
❷ダストカップ内を水洗いする

3 十分な乾燥を確認して、プリーツフィルターをセットする

❶ダストカップの底面を手で戻し、はめ込む
❷プリーツフィルターのフックをダストカップの穴に引っかける
❸ダストカップのツメをプリーツフィルターのつまみの穴にはめ込み、プリーツフィルターをセットする

お願い
- 各部品は十分に乾燥してから本体にセットしてください。（雑菌が繁殖し、排気のにおいの原因）
お手入れをしてもにおいが取れないときは、においの付いている部品の交換が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- プリーツフィルターは必ず取り付けてください。（故障の原因）

（つづく）

お手入れする（つづき）

⚠警告 水ぬれ禁止 **本体・ホース・伸縮延長管は絶対に水洗いしない**
感電・故障の原因。

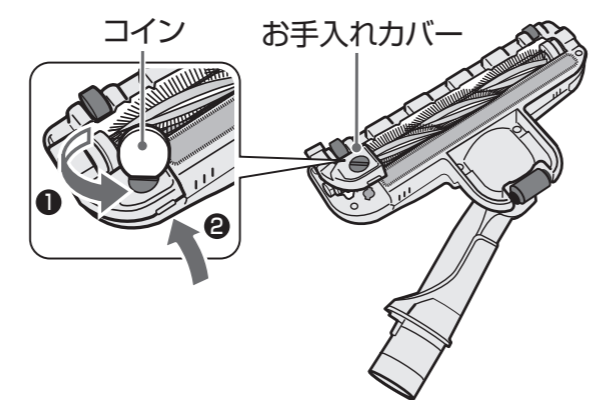
本体・付属品 …汚れが気になるとき

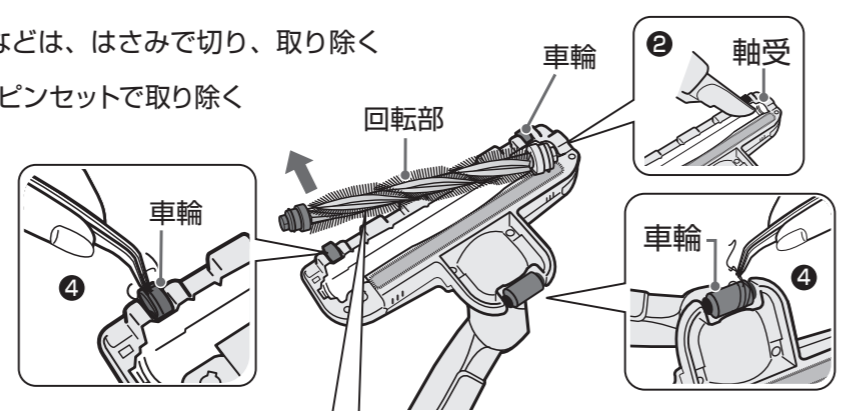
水または食器洗い用中性洗剤をふくませた布でふく

床ブラシ …週に１・２度点検を！

●お掃除の後に点検し、回転部や車輪にゴミがからんでいるとき、汚れが気になるときは、お手入れしてください。
回転部にゴミがからむと、回転部が回らなくなります。
●車輪にゴミがたまったまま使うと車輪が回らず、床・たたみを傷付けることがあります。

1 裏返してお手入れカバーをはずす

❶溝にコインなどを入れ、「ひらく」の位置に合わせる
❷お手入れカバーの後ろ側を持ち上げ、前方向に引き抜く

2 回転部をはずし、ゴミを取り除く

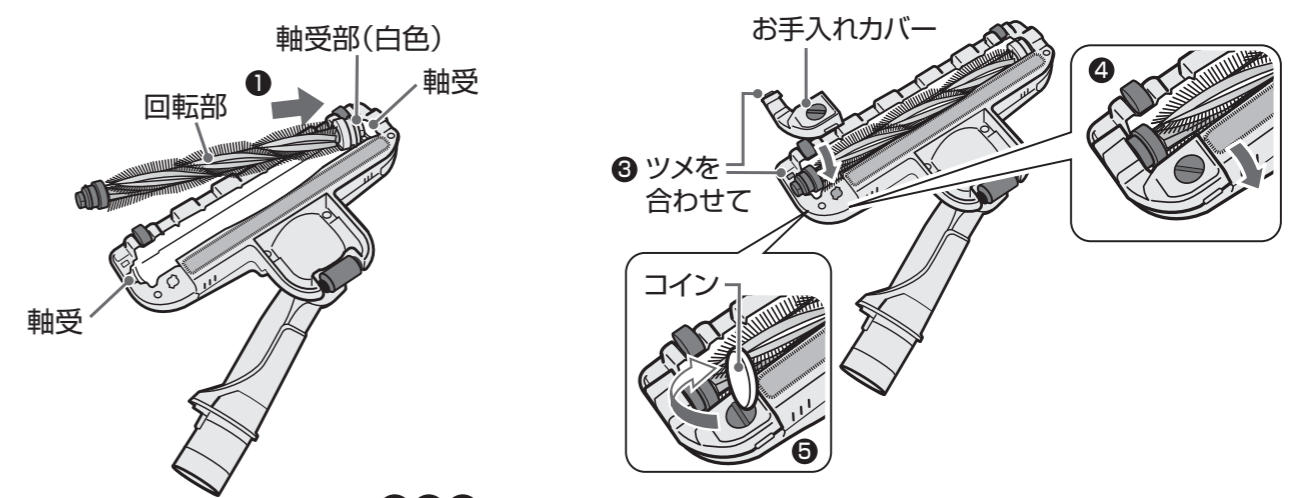
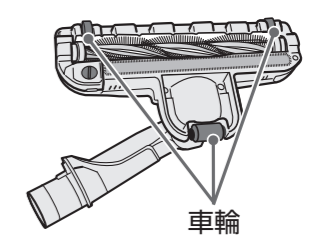
❶回転部をはずす
❷軸受にからみついたゴミと前取り吸い口に入ったゴミを取り除く
❸回転部にからんだ糸くず・ペット毛などは、はさみで切り、取り除く
❹車輪のまわりにからみついたゴミは、ピンセットで取り除く

お願い
●床ブラシの風路内にゴミがたまっていると、ゴミすて / フィルターサインが点滅する場合があります。使い古しの割りばしなどで取り除いてください。

性能・品質を保つために、次のことは守ってください

●お手入れに、ベンジン・シンナー・アルコール・漂白剤などを使わないでください。また、洗濯機で洗わないでください。（ヒビ割れ・変色・色落ちの原因）
●毛のかたいブラシで洗わないでください（傷付きの原因）
●暖房器具・ドライヤーなどで乾かさないでください。（ヒビ割れ、変形の原因）
●**ぬれたままで使わないでください。乾燥時間の目安は日陰の風通しの良い場所で約1日（24時間）です。（故障の原因）**

3 床ブラシ本体・回転部・お手入れカバーを水で洗い、十分に乾いたことを確認し取り付ける

❶軸受部の白色の方を矢印の方向に軸受にはめ込む
❷回転部を取り付ける
※向きが違うと取り付けられません。
❸お手入れカバーの前のツメを合わせる
❹矢印の方向にセットする
❺溝にコインなどを入れ、「しまる」の位置に合わせる

お願い
●回転部の軸受部には注油しないでください。(回転不良の原因)
●お手入れカバーは確実に取り付けてください。確実に取り付けられていないと回転部が回りません。

●車輪の摩耗の点検を！
摩耗していると、床・たたみ・じゅうたんを傷付けることがあります。
車輪が摩耗してしまった床ブラシは使わずに、お買い上げの販売店を通じて新しい床ブラシ（有料）と交換してください。

本体が止まったら

モーターの過熱を防ぐため、本体内部には運転を止める保護装置がついています。
次のようなときは、保護装置が働きます。お手入れをしてください。

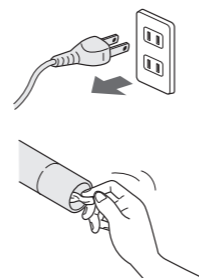
本体の保護装置が働くとき

- ダストカップがゴミでいっぱいのまま運転し続けた
  砂ゴミ、誤って吸い込んだ湿ったゴミなど、吸い込むゴミの種類によっては、ダストカップがいっぱいになる前に、保護装置が働くことがあります。
- ホース・伸縮延長管・床ブラシなどにゴミが詰まったまま運転し続けた
- すき間ノズルを使い、運転し続けた
- 夏期など室温が 35℃を超えるとき
- 吸込口や排気口をふさいで運転し続けた
- ゴミすて / フィルターサインが点滅したまま使った

直しかた

❶手元スイッチの 切 を押し、電源プラグをコンセントから抜く

❷ダストカップのゴミを捨てるか、またはホース・伸縮延長管・床ブラシなどに詰まったゴミや排気口などをふさいでいる物を取り除く

❸涼しい場所におく

約 1 時間後、保護装置が解除され、再び使えます。

抗菌の効果

部品名	抗菌の確認を行った試験機関	試験方法	試験結果	抗菌の方法	抗菌の処理を行っている部品の名称
床ブラシ	(財) 日本化学繊維検査協会	JIS L 1902	99%以上	繊維に付着	回転部のブラシ毛
プリーツフィルター	(財) 日本紡績検査協会	JIS L 1902	99% 以上	繊維に付着	不織布
フラボノイドフィルター※	(財) 日本食品分析センター	JIS Z 2801	99%以上	繊維に含浸	不織布

※その他の効果
ウイルス抑制について：試験機関 / (財) 日本食品分析センター、試験方法 / ウイルス浮遊液を滴下しウイルス感染量を測定、試験結果 / 6 時間後に 99%以上抑制（フラボノイドフィルターに捕獲したものを抑制します）
抗ダニ・スギ花粉について：試験機関 / 東京農工大学、試験方法 / ウエスタンブロット法、試験結果 /99%以上抑制（ダニ）、97%以上抑制（スギ花粉）

仕様

電源	消費電力	外形寸法			質量	吸込仕事率	運転音	集じん容積	電源コードの長さ
		長さ	幅	高さ					
100V 50-60Hz 共用	1000W ～約250W	345 mm	254 mm	219 mm	5.3kg (ホース・伸縮延長管・床ブラシ含む)	600W ～約 90W	68dB ～約 61dB	0.35L	5m

手元スイッチ「強」にて消費電力 1000W、吸込仕事率 600W、運転音 68dB

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country. No servicing is available outside of Japan.

お困りのときは

⚠警告 分解禁止
絶対に改造はしない　また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない
火災・感電・けがの原因。
修理はお買い上げの販売店または、東芝生活家電ご相談センターにご相談ください。

修理サービスを依頼する前に

- ご使用中に異常が生じたときは、電源プラグを抜き、約 15 秒後に再び差し込んで動作を確認してください。
  それでも異常が直らないときは、次の点をお調べください。

このようなときは	調べて、直してください	参照ページ
運転しない 使用中に止まる	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか。	6
	●ホースが本体に差し込まれていますか。 →ホースを一回抜いてカチッと音がするまで差し込み直してください。	5
	●ダストカップがゴミでいっぱいになったり、ホース・伸縮延長管にゴミが詰まっていませんか。（本体の保護装置が働いています）	14
	●床ブラシにゴミが吸い付いていませんか。（本体の保護装置が働いています）	14
運転音が変わる	●ゴミすて / フィルターサインが点滅したまま使うと、本体保護のため吸込力を弱めます。（異常ではありません）	7
吸込力が弱い ゴミすて / フィルターサインが点滅している	●ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。	10
	●ダストカップ・プリーツフィルターの汚れがひどくありませんか。	11
	●ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミが詰まっていませんか。 →ホース・伸縮延長管・床ブラシをはずしてゴミを取り除いてください。	4,5
	●プリーツフィルターを付け忘れていませんか。	11
	●水などの液体か湿ったゴミを吸い込んでいませんか。	10,11
	●水洗い後、十分に乾燥されていますか。	10,11
床ブラシ回転部が回転しない	●ダストカップがゴミでいっぱいになっていませんか。	10
	●お手入れカバーが床ブラシ本体に確実に取り付けられていますか。	13
	●回転部のまわりに糸くずがたくさん巻き付いていませんか。	12
	●大きなゴミか、薄い敷物を巻き込んでいませんか。	12
電源コードが巻き取れない	●電源コードが片よって巻き取られていませんか。 → 1 ～ 2m 引き出して、再度巻き取ってください。	6
電源コードが引き出せない	●電源コードがからんでいませんか。 →ハンドル兼用電源コード巻取りボタンを押しながら、「巻き取る」「引き出す」動作を 2 ～ 3 回繰り返してください。	6
ホースが縮む	●床ブラシに大きなゴミが吸い付いていませんか。	12
	●ホース・伸縮延長管・床ブラシにゴミが詰まっていませんか。	4,5
排気がにおう	●湿ったゴミを吸い込んでいませんか。	11
	●プリーツフィルターを水洗いした後、十分に乾燥しましたか。	11
	●プリーツフィルターが目詰まりしたまま使っていませんか。	11

上の処置をしても異常のある場合は、16 ページの保証とアフターサービスをご参照ください。
ご自分での修理は絶対におやめください。（火災・感電・けがの原因）

- 次の場合は異常ではありません。
  - ・本体および電源コード、排気風が熱く感じられる。（モーターの熱のため）
  - ・ゴミがたまってくると、モーターの回転数が増え音が大きくなる。
  - ・電源プラグを差し込むとき、火花が散ることがある。